

# 日本メディア学会

## 第 39 期第 11 回理事会 議事録

日時：2024 年 8 月 24 日（土）10：00～12：30

場所：Zoom によるオンライン開催

出席者（18 名）：理事＝阿部、石田（あ）、石田（佐）、音、古賀、笹田、鈴木、辻、土橋、長崎、藤田、福間、水越、毛利、山口、吉見／ 部会長等＝清水、津田

欠席者（10 名）：理事＝植村、金平、鳥谷、田中、松尾、松永、村上／ 監事＝吉光、柴野／部会長等＝治部

事務局出席予定者（2 名）：杉山、柳

事務局出席欠席者（2 名）：松山、ヴィニットポン

### 1. 報告事項

#### 1. 一般会務報告

##### 1) 事務局報告

- ・2024 年秋季大会運営の外注化について →資料 1-1

→総務担当理事より外注の内容について詳細の説明が行われた。アーカイブに関する質問があり、システムにはアーカイブが残らないので、別途学会事務局でアーカイブ化の作業が必要になるとの回答がなされた。会長より、異論がなければ本件については進めることとし、並行して、コロナ以降の変化を踏まえた学会の収入・支出状況の精査も行うことが確認された。

- ・2024 年秋季大会レポーターの募集について

→総務担当理事より、春季大会同様、レポーターによる大会記録を実施予定であるとの説明があった。加えて、事務局より、担当者の推薦（理事からの推薦）の依頼がなされた。

##### 2) 委員会報告

###### (1) 企画委員会

→秋季大会のプログラム（案）の作成を進めていること、また、その内容について本日の理事会審議事項として詳細を説明するとの報告があった。

###### (2) 研究活動委員会

→部会再編の具体案の策定を進めていること、また、その内容について本日の理事会審議事項として詳細を説明するとの報告があった。

###### (3) 編集委員会 →資料 1-2

→106号の特集について、春季大会の内容に沿って、資料1-2に記載の5名に執筆を依頼していることが報告された。

(4) 国際委員会

→とくになし

(5) その他

→会長より106号の特集について、この特集は既刊本を背景にしているため、その本と差別化した別の論文を書き下ろしてもらうことになっていることが補足説明された。

2. その他

→とくになし

2. 審議事項

1. 第39期第9回理事会議事録（案）について（総務担当） → 資料2-1

→承認された。

2. 秋季大会のプログラム（案）について（企画委員会） → 資料2-2

→2024年秋大会のタイムテーブルや応募作品の採否について説明が行われ、昨年度とほぼ同様の構成で進められることが確認された。個人・共同研究の応募作品14件はほぼ全て採択されたが、一部には修正依頼を出している旨の説明があった。また、国際シンポジウムの登壇者やテーマについても説明があり、詳細について未決定の部分についてはメール審議になるとの説明があった。ワークショップの登壇者変更や、複数提案、入会手続き未済の登壇者の扱いについても議論が行われ、柔軟な対応を取る方針で合意された。以上の説明・確認を踏まえて、秋季大会のプログラム（案）が承認された。

3. 学会研究活動の再編について（研究活動委員会） → 資料2-3

→研究活動委員より、資料2-3「学会研究活動の再編について」に沿って、部会再編案の叩き台が示された。この叩き台は、5月の理事会でゆるやかに合意された方向性を具体化したものであり、現在の体制が抱えている問題、すなわち、部会ごとのテーマ・領域の重複や欠落、部会運営の人的な偏り、理事・幹事の負担の問題などを解消しようとするものであることが確認された。その上で、研究活動委員会／分科会／プロジェクトの三層構造から成る再編案の具体的な内容が説明され、分科会・プロジェクトの規模のイメージ（分科会は現在の部会より大きく、プロジェクトは部会より小さい）、ワークショップ提案の主体（基本はプロジェクト）などについて議論があった。また、移行のスケジュールについての質問を受けてその点について議論し、結果、39期で再編を決定し、40期から新しい形で運営するのが望ましいとの結論に至った。その場合、綿密な引き継ぎが必要であることも確認された。以上の議論を受けて、今後詳細についてさらに議論しつつ、再編案を推進することが承認された。

4. 選挙管理委員の選定について（執行部）

→選挙管理委員の選出について承認された。電子投票化については、前期の総会で認められていたので、今期の承認は重複承認となってしまった点についてお詫びと補足の説明がなされた。

5. 2024年度内川芳美基金運営委員の委嘱について（執行部）→ 資料 2-4

→内規に従って、会長（水越伸会長）、総務担当理事（辻泉会員、土橋臣吾会員）、「内川芳美先生を偲ぶ会」発起人（有山輝雄会員）、内川賞選考委員長（伊藤守会員）に委嘱することが承認された。

6. 会員の入退会について 入会希望者 9 名／退会希望者 2 名

→承認された。

7. その他

→会長より、今回は欠席者もいるので、本日の審議事項「学会研究活動の再編について」に関して次回理事会で再度説明してほしいとの依頼があった。

今後の理事会日程

第 12 回 2024 年 10 月 26 日(土) 秋季大会当日(オンライン開催)

第 13 回 2025 年 1 月 11 日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第 14 回 2025 年 3 月 8 日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第 15 回 2025 年 5 月 17 日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第 16 回 春季大会当日(対面開催)